

## 【実務セミナー抄録】

### 第1回不動産投資顧問業養成実務セミナーから

投信法等の大改正をうけて我が国における不動産証券化は、本格的な実践の時代に入ろうとしている。金融と不動産のハイブリッド商品である不動産投資ファンドの組成、運用等に必要な知識、経験を有する人材は関係業界の中でも必ずしも十分であるとは思われない。土地総合研究所では、昨年来、実務セミナー等を実施して不動産証券化について基礎的な啓発活動を行ってきたが、本年（平成12年）は、不動産投資顧問業登録制度が発足することも考慮し、「不動産投資顧問業養成実務セミナー」として少し踏み込んだ内容のセミナーを連続講演のかたちで実施することとした。

第1回は、建設省前不動産市場整備室長遠藤誠之氏、不動産金融アナリスト井出保夫氏、アクサニチダン生命保険専務執行役員大垣尚司氏の3名に講師をお願いした。遠藤氏の講義（4月26日）は前号の不動産証券化特集の中で論文（「不動産投資ファンドと関係法律の改正」）のかたちで掲載させていただいたので、本号では井出氏（5月10日）と大垣氏（5月17日）の講義を編集者による抄録で紹介する。